

競技・審判上の注意

太文字、下線部の注意事項をよく確認してください

1. 本大会は、令和7年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程により行います。
2. 競技中の服装については、公益財団法人日本バドミントン協会の審査合格品とします。着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示については大会運営規程24条を厳守してください。なお、背面については、所属クラブ名および都道府県を必ず明示してください。明示なき場合、失格となる場合があります。また、ゼッケンを使用する場合、四隅止めとしてください。

背面のチェックは、1日目と2日目はタイムテーブル1列目（試合番号1～22）は選手待機所（武道場）で競技委員が行います。タイムテーブル2列目（23～）からは、団体戦試合開始前の挨拶後、競技委員がコートで確認します。

3. 審判は、予選リーグおよび決勝トーナメントの準々決勝までは主審・線審（2名）・得点係を相互審判とします。決勝トーナメントの準決勝・決勝はすべて（主審・サービスジャッジ・線審（4名）・得点係）を主管で行います。ただし、以下の場合については注意をしてください。
 - (1) **タイムテーブルに審判の記載されているチームについては、試合開始前に指定のコートへ集合してください。**
 - (2) **予選3チームリーグは、試合を行わないチームが主審・線審・得点係を行うこととします。**
 - (3) **予選4チームリーグは、主審は主管で。線審（2名）・得点係（1名）を相互審判とします。**
 - (4) **成年女子・壮年女子団体戦は、すべての試合を主審・サービスジャッジを主管で行い線審（4名）・得点係（1名）を相互審判とします。**
4. 試合は、一般男子・一般女子の部は、第1複一単一第2複の順番で行い、決勝トーナメントは勝敗決定後打ち切りとします。
シニアの部の予選リーグは全てのマッチを行います。決勝トーナメントの形式は二回戦目から年代を後ろにずらすものとする。
例えば、壮年男子Aは、 1回戦:35-40-45 2回戦:40-45-35
年代別混合Aは、1回戦:60-70-80 2回戦:70-80-60 のように行います。
5. 試合のコールは流し込み方式で行いますのでコールにご注意ください。また、試合の進行状況によっては、並行して試合を実施する場合があります。試合が連続となる場合、15分以上の間隔を設けます。
6. オーダー用紙の提出について
 - (1) **1日目のタイムテーブル1列目の試合（試合番号1～22）は8時45分まで、タイムテーブル2列目の試合（試合番号23～44）は10時00分までに、本部オーダー用紙提出所へ提出してください。**それ以降のオーダー用紙については、試合終了後すみやかに提出してください。
 - (2) **2日目、3日目のオーダー用紙については、タイムテーブル1列目の試合（試合番号1～22）は8時15分までに本部オーダー用紙提出所へ提出してください。**それ以降の試合は、すみやかにオーダー用紙を提出してください。
 - (3) オーダー用紙は、所定の用紙に記入し提出してください。提出後の変更は認めません。
 - (4) オーダー用紙は、確認のため提出用と控えの両方を本部オーダー用紙提出所へ提出（提示）してください。確認後、控えは返却します。
7. 試合のコールがありましたら、選手の方は直接コートへ集合してください。
試合のコール後、10分経過しても出場選手の確認ができなかった場合は、レフェリーの判断により「棄権」とみなす場合があります。
8. 練習時間については、団体戦の試合前（マッチごと）に各チーム2分間設けます。各コートの主審に

よる時間計測の指示に従ってください。それ以外の練習は認めません。

9. コーチ席を2席設置します。着席できるのは、試合に入るチームの監督・コーチ・プレーヤーに限ります。コーチングシートでの服装については、監督・選手を問わず公認審判員規程第5条第12項(8)(9)を適用します。インターバル中に競技区域に入れるのは、同時に2名までとします。
10. 給水やタオルの使用については、必ず主審の許可を得てください。コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しませんので、バッグ等を持参し主審側コートサイドに置き、汗拭き用タオル・水分補給用の容器は各自のバッグに収納してください。容器については、スクイズボトル・ペットボトル等、倒れてもこぼれない容器（蓋付）を使用し、各自のバッグに入れてください。なお、競技区域及びベンチヘクターバッグ等の持ち込みは禁止します、なお、試合中の氷嚢の使用については、インターバルのときのみ認めます。
11. シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。また、使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。
12. 判定に疑問がある時は、当該プレーヤーと監督に限り主審に質問できますが、抗議や異議は認められていません。
13. 汗を手で拭い、コート内外（競技区域）に投げ落とす行為については不品行な振る舞いに相当するものとみなします。（競技規則第16条第6項の4）
14. 競技フロアでは、競技者（監督、プレーヤー等）の携帯電話、パソコンなどのモバイル機器やカメラの使用を禁止します。競技フロアでは、電源をOFF若しくはマナーモードにしてください。
15. 〔公認審判員規程第5条第12項(5)(6)〕モバイル機器を使用時のマッチ中のアドバイス・コーチングは禁止されています。
16. 棄権の扱いについては以下のとおりとします。
 - (1) チームとしての棄権は、棄権届に必要事項を記入して大会本部に提出してください。
 - (2) 大会期間中に棄権したプレーヤーは、その対戦のマッチには出場できないが、その後の勝ち上がったトーナメントやリーグ戦には再びマッチに出場できます。
 - (3) 勝敗決定後のメンバー変更は認めません。
 - (4) マッチ途中、棄権となったマッチについて、取得ゲーム率等を計算する際には、ゲームカウントは2-0とし、ポイントは21-0・21-0とします。
17. 試合中のケガや病気については、主審の判断によってレフェリーまたはデピュティレフェリーを呼び、レフェリーまたはデピュティレフェリーが医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断をくだします。
18. マッチ終了時に、勝敗に関係なく主審・サービスジャッジにお礼の意味を込めて一礼するように心がけてください。

一般上の注意

太文字、下線部の注意事項をよく確認してください

1. 体育館の開館は7時30分です。体育館に入って2階で受付をしてください。観覧席は地域毎に席を指定しております。
2. 競技シューズと外履きシューズの区別を厳守してください。土足で競技フロア内に入らないようにしてください。
3. **監督会議は8時30分から武道場で行います。各チームの代表者は出席してください。出席できないチームは代理人に出席してもらい、会議の内容をチームに必ず伝えてください。**
4. 第1日目に開会식을9時30分から執り行います。出場選手は全員フロアに集合してください。開会式が終了しましたら第1試合目の監督・コーチ・プレーヤーは直ちに競技ができる服装で指定された武道場に集合してください。
5. 所持品（貴重品）の管理は、各自で責任を持って行ってください。
6. 喫煙は所定の場所をお願いします。
7. 競技場（アリーナフロア）内での飲食は禁止です。（水分補給のみ可）
8. ゴミはすべて各自で持ち帰り、処分してください。
9. トイレの手洗いには氷を捨てないでください。
10. カメラ・ビデオ機器類(同様の機能を有する携帯端末等を含む)による撮影について、競技フロアでは一切禁止とします。会場観覧席で撮影する際には以下のことに注意してください。
 - フラッシュ等の競技の妨げになるものは使用禁止です。
 - 会場内のコンセントは使用禁止です。他の観客・選手の妨げとならないよう注意してください。特に三脚等の使用には注意してください。
 - 会場内での写真撮影・ビデオ録画は個人での鑑賞目的のみとしてください。第三者が閲覧可能なインターネットやSNS等への掲載はご遠慮ください。
11. 競技中の事故(けがや病気)は、主管県にて応急処置のみ行いますが、その後の処置については各自あるいはチーム等で対応してください。なお、参加者全員、大会用傷害保険に加入していますので、処置後すみやかに大会本部へ連絡をお願いいたします。
12. 会場本部席側の手すりにクラブ旗等を取り付ける場合は、テープで貼り付けずに必ず紐で取り付けてください。
13. 大会運営規程により、原則として第1位～第3位までの表彰については競技終了後行います。なお、大会全競技終了後、表彰式を兼ねた閉会式を行いますので、最終日の第1位から第3位の監督・選手は参加してください。